

プロキシ・ファイアウォール 通信許可対象サーバリスト

対象サービス
「VCP」



Beyond テレワーク
V-CUBE

株式会社バイキューブ

2026/02/01

目次

1. はじめに	- 1 -
1.1 概要	- 1 -
1.2 前提	- 1 -
2. CA証明書 参照先について	- 2 -
3. ドメイン名の設定	- 2 -

更新履歴

更新日	内容
2026/02/01	・新規作成

1. はじめに

1.1 概要

この文書は、プロキシサーバやファイアウォールなどによってインターネット通信が制限された環境下での、「VCP」のご利用に必要な通信の「許可」対象とすべきドメインの情報を記載しています。

なお機器の設定変更・追加等により不定期で情報の変更が行われる可能性があります。

1.2 前提

PCのブラウザからVCPサーバと通信できるよう、各ネットワークアドレスのTCP80, 443ポートに対する接続をプロキシサーバにおいてフィルタリングの対象外となるように設定を行ってください。

2. CA証明書 参照先について

「VCP」ではAmazon社のサーバ証明書を利用しています。環境によっては証明書の有効性確認のため認証局との通信が発生し、プロキシやファイアウォールの透過が必要になる場合がありますので、以下のドメインに対してアクセス許可の設定を行ってください。

*.amazontrust.com

3. ドメイン名の設定

以下のドメインに対して許可の設定を行ってください。

*.vcp.vcube.com
*.agora.io
*.edge.agora.io
*.sd-rtn.com
*.edge.sd-rtn.com
*.ap.sd-rtn.com
*.statscollector.sd-rtn.com
*.webrtc-cloud-proxy.sd-rtn.com

補足

映像音声のやりとりについては、本来UDP通信がクオリティも含めベストな通信方式となっております。もし、お客様ネットワーク環境にてプロキシ経由の通信の迂回等を行い、UDP通信を許可することができる場合は、上記ドメインに対してUDP通信を許可いただくような設定をお願い致します。